

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：2/11～2/15

・2/11(月)

アメリカ民主党の女性議員が相次ぎ大統領選挙に出馬表明、安倍首相発言に枝野氏が反論などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。アメリカ大統領選挙についてはこれから注視する必要があるテーマだと考えています。なお、安倍首相発言に枝野氏が反論、については検証者の所感を記しました。

・2/12(火)

国会論戦、レオパレス 21 の施工不良問題、韓国の議長発言に政府が撤回要求、ベトナム外相が平壤に到着などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会論戦については問題のある報じ方および印象操作の疑いのある場面が見られました。なお、韓国の議長発言に政府が撤回要求については検証者の所感を記しました。

・2/13(水)

国会論戦、東京五輪消えた金の行方は・・・、桜田大臣が池江選手への発言謝罪撤回、日本でルノー日産三菱自動車の三社トップ会談へ、トランプ大統領が中国との関税期限延長も、沖縄新基地県民投票 24 日になどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会論戦については問題のある取り上げ方が見られました。また、国会論戦および桜田大臣が池江選手への発言謝罪撤回については検証者の所感を記しました。

・2/14(木)

中国・伊藤忠社員を拘束、同性婚求めて一斉提訴、辺野古基地移設県民投票が告示などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、同性婚求めて一斉提訴については放送法上問題とみられる場面がありました。

・2/15(金)

勤労統計問題、カンギョンファ外相と河野太郎外相が会談、メキシコ国境の壁建設を巡りトランプ大統領が国家非常事態を宣言か、平成選定の舞台裏、米朝が終戦について協議、中国外務省が伊藤忠社員男性の拘束を認める、金正恩氏の側近がベトナム入りなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題のある場面は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月11日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：アメリカ民主党の女性議員が相次ぎ大統領選挙に出馬表明、安倍首相発言に枝野氏が反論		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連休最終日の厳冬列島 ・ グラミー賞で日本人が栄冠 ・ アメリカ民主党の女性議員が相次ぎ大統領選挙に出馬表明 ・ 安倍首相発言に枝野氏が反論 ・ 【届かない SOS】 見えてきた児相所の限界 ・ 福島市でカッター片手にあおり運転の運転手を酒気帯びで逮捕 ・ 姫路市で元フジテレビアナウンサーで住職結城思聞の器物損壊で逮捕 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> グラミー賞で日本人が栄冠 安倍首相発言に枝野氏が反論 各地で火事が相次ぐ 女子大生殺害事件で容疑者の証言 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ民主党の女性議員が相次ぎ大統領選挙に出馬表明：結論→今後に注目 <p>アメリカの民主党でエイミー・クロブチャー上院議員、エリザベス・ウォーレン上院議員、インドとジャマイカからの移民の子供であるハリス上院議員、セクハラなど性的被害を告発する MeToo 運動にも積極的に関わってきたジルブランド上院議員などが大統領選に名乗りを上げているとことが報じられた。またスタジオで以下に朱記したやり取りが繰り広げられていた。</p> <p>雨宮塔子「大統領選は来年11月ですからまだまだ時間がありますが、」</p> <p>星浩「そうですね。」</p> <p>雨宮塔子「早くもね、あの民主党の女性議員が出馬を表明しているんですね。」</p> <p>星浩「そうですね、来年の年明けには予備選が始まりますのでね、それに向けて民主党は今の所20人位手を上げるんじゃないかって言われていまして、そのうち10人、半分以上は女性じゃないかって言われているんですね。まああの、一見これバラバラのように見えるんですけども、アメリカの中でむしろみんな手を上げて活気があってよろしいという評価になっているんです、まああのトランプ政治の移民政策に対して真っ向から反対するという動きも高まっています、まあこの二年間、大統領選挙に向けてアメリカでは多様性についてどう向き合うかというのが最大の論点になっていくと思いますね。」</p> <p>このトピックについて当てられた時間は秒で、今回は放送法上の問題は特に見られなかった。</p> 		

アメリカの大統領選挙は党内での予備選挙を経て、それに勝ち抜いた候補が党の候補として本選を戦うという仕組みになっているので、民主党や共和党それぞれの党内での各勢力の意見の違いが浮き彫りになるのは予備選挙になる。前回の大統領選挙では予備選挙の段階から民主党に親和的あるいはトランプ大統領に辛辣な報道が目立っていたが、今回はどういった姿勢で報道されるのかを注視したい。

・安倍首相発言に枝野氏が反論：結論→特に問題なし

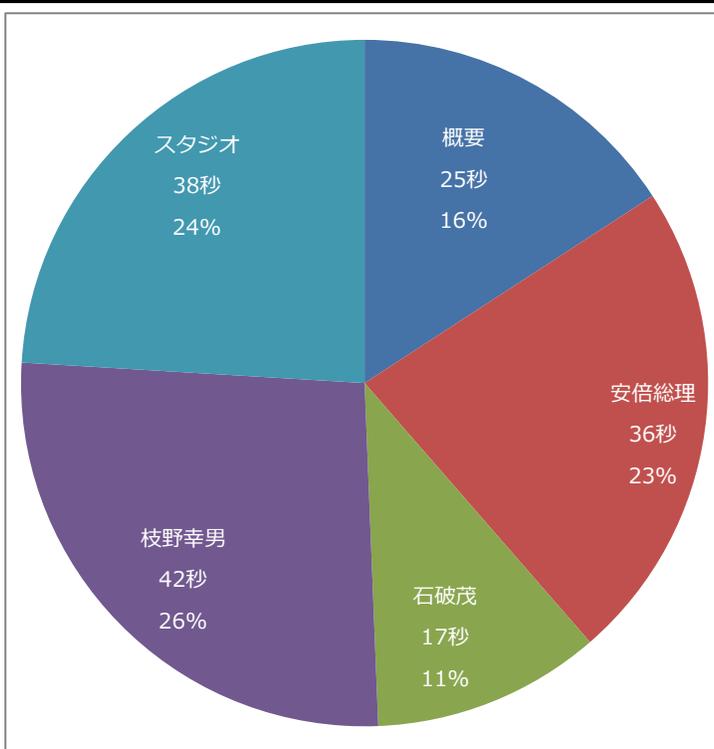
安倍総理が党大会で「わが党は参議院選挙に起きまして、惨敗をいたしました、我等の敗北によって政治は安定を失い、そしてあの悪夢のような民主党政権が誕生しました。あの時代に、皆さん、戻すわけには行かないんです。」と参議院選挙に臨み 12 年前の苦い記憶を引き合いに出したこと、これに対して党内外からの反発が合ったとことが報じられた。

自民党内からの反対の声として石破茂元幹事長の「ほら、あの民主党に比べればよいでしょっていうね、終わった、過去に終わった政権のことを引き合いに出して自分たちが正しいんだというやり方は私は危ないと思いますよ。」というコメント、野党の反発として民主党政権で官房長官を務めた立憲民主党の枝野幸男代表の「安倍さんは昔のことをなんか 6 年も 7 年も前のことを取り上げて、悪夢のようだ、と仰ったそうではありますが、それは、まああのとき利権を手放してしまった彼らにとっては悪夢のような時期だったかもしれませんが、現実は今、この足元で起きていることは何なのか、国民のみなさんにとってはどんどんどん、暮らしが厳しくなり、老後や子育てなどの不安が大きくなっている、悪い夢ではなく現実が悪くなっているのが今の現状ではないか。」というコメントが取り上げられていた。

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。

雨宮塔子「安倍総理が六年以上も前の民主党政権を悪夢のようだと言ったんですが波紋を広げていますね。」
星浩「そうですね、まあ選挙の年ですからね、多少エキサイトするのはしょうがないにしても、最近のその統計不正にしてもですね、その一千兆円を超える借金にしても、圧倒的な部分は自民政権が作り上げた問題なんですよね、ですからあんまりその自民党がよくて民主党が悪夢というそういう切り方は今ひとつ感心できませんね。ですから、むしろ私はね、憲法改正なんかあんまり進まないのだから安倍総理ちょっと苛立ってるんじゃないかなって印象を持ちましたけれどね。」

このトピックについて当てられた時間は 164 秒で、それぞれのコメントを取り上げた時間の比率および配分は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・ 安倍首相発言に枝野氏が反論

そもそも党大会という内輪向けの発言についてことさら取り上げるほどのものなのか、というのは疑問もさることながら、今年は春の統一地方選挙と夏の参議院選挙と、選挙の年であり、以前の放送で星キャスターも述べていたように「亥年選挙は参議院選挙で自民党が苦戦する」というジンクスもある。また星キャスターはその理由を「地方議員が自分の選挙で疲れちゃうから」とも挙げていた。確かに自分の所属する党の参院議員の当落を賭けた選挙と自身の当落を賭けた選挙とでは本気度が違うというのはその通りだろう。そうした中で地方議員に対して参議院選挙を自分ごととして取り組んでもらうことを狙っての発言ではないのだろうか。

また、石破茂氏の「ほら、あの民主党に比べればよいでしょっていうね、終わった、過去に終わった政権のことを引き合いに出して自分たちが正しいんだというやり方は私は危ないと思いますよ。」というコメントには違和感を覚えた。そもそも党大会という場での発言であるのだから、広く国民一般を聞き手と想定したものではなく、自民党員に対する発言であることを踏まえると、「自分たちが正しいんだ」というよりは、「統一地方選挙で自分の選挙が終わったからと参議院選挙で怠けると、それは後々になって自分たちの首を絞めることになりますよ」程度の意味合いだったのではないだろうか。

そのように考えると枝野氏の「安倍さんは昔のことをなんか6年も7年も前のことを取り上げて、悪夢のよう

NEWS23 週刊報告 詳細版

だ、と仰ったそうではありますが、それは、まああのとき利権を手放してしまった彼らにとっては悪夢のような時期だったかもしれません」というコメントのほうが「利権」という言葉はいささか穏やかではないが、実際に政権交代で自民党の地方議員の多くは国政や中央とのパイプの多くを失ったことを踏まえると、石破氏のコメントよりも本質を突いているように見受けられた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月12日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：国会論戦、レオパレス 21 の施工不良問題 韓国の議長発言に政府が撤回要求、ベトナム外相が平壤に到着		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・ 競泳女子の池江璃花子選手が白血病を告白 ・ 国会論戦 ・ “青白王子” が脱税容疑で逮捕 ・ レオパレス 21 の施工不良問題 ・ 東京物流センターで火災 ・ 韓国の議長発言に政府が撤回要求 ・ 【最新】千葉県野田市小 4 女児死亡事件で父親を再逮捕へ ・ スポーツ報道 ・ 23Today 競泳女子の池江璃花子選手が白血病を告白 国会論戦 ベトナム外相が平壤に到着 JR 北海道で東急の豪華列車 JAL がパワーアシストスーツを公開 ・ 天気予報 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会論戦 国会論戦について取り上げられていた。 VTR では以下に朱記したように質疑の様子や、毎月勤労統計の関係者の声を取り上げられていた。 ナレ「かつて民主党代表を務めた岡田元副総理が取り上げたのは安倍総理のこの発言。」 安倍総理「わが党の敗北のよって、政治は安定を失い、そしてあの悪夢のような民主党政権が誕生しました。」 "岡田克也（立憲民主党会派元副総理）「もちろん、民主党政権時代の反省派は我々にあります、しかし政党政治において頭から相手を否定して議論が成り立つのか、撤回を求めます。」 安倍総理「私は自民党総裁としてそう考えている、そう考えているということを述べる自由というのはまさに言論の自由、なんですから、」 岡田克也「今の発言全く了解できませんよ、取り消しなさい。」 委員長「安倍内閣総理大臣」 安倍総理「取り消しなさいと言われても取り消しません。」 " "ナレ「続いて質問に立ったのは小川議員、まず、毎月勤労統計の過去の調査結果に菅官房長官が怒っていたので		

はないか、と質しました。」

小川淳也(立憲民主党会派衆院議員)「一昨日の報道で、官邸か菅官房長官がカンカンに怒っている、激怒している、激怒したという事実があるかないかお答えください。」

菅官房長官「ええ、私この新聞記事を見て激怒したいぐらいでした。私は感量に激怒することはありません。」
ナレ「小川氏が菅氏に激怒したのか確認したのは 2015 年に出た勤労統計の調査結果についてです、平均賃金が大きく下がったのです。勤労統計は 2~3 年に一度、中企業の調査対象の事業所、サンプルをすべて入れ替えていました、その更新の度に平均賃金が下がる結果が出ていて 2015 年も入れ替えの年でした。結果を受けてこの歳の 6 月、この下げ幅を小さくするにはどうすればいいのか議論を行う検討会が設置されました。」

ナレ「当時、メンバーだったエコノミストの永濱氏は」

永濱利廣(第一生命経済研究所首席エコノミスト)「それまではアベノミクスの効果で賃金が上がっているというデータだったんですけども改定によって過去の数字ほど賃金が伸びていない、多方面で問題になってこの統計資料はまずいだろうということで、それを改善検討するための会合というのが開かれた。」

ナレ「そこで検討されたのはサンプルをすべて入れ替えるのではなく、毎年一定数をローテーションで入れ替える方式でした。この方式だと下げ幅が小さくなる効果が期待できます、しかし。」

自治体担当者「一年に一回になりますと都道府県の事務にそれなりに影響を与えると考えられます。」

ナレ「参加していたある自治体の担当者が事務手続きの負担が増える、と指摘したのです、そして検討した結果。」
"

永濱利廣「ローテーションサンプリングについては引き続き検討課題ということで先送りされたという状況でしたね、議論が。」

ナレ「検討会の座長代理を務めた横浜市立大学の土屋教授もローテーション方式の導入は慎重意見が多く出たため、中間報告で引き続き検討する、との結論になったと振り返ります。」

土屋隆裕(横浜市立大学教授)「都道府県も限られた人と予算で調査していますから、そのところで負担が増えると今度は調査データの質が落ちてしまう、と。まあ検討会では慎重に考えていくべきじゃないかというようなことになったと思う。」

ナレ「しかし、厚生労働省はローテーション方式の導入を総務省に申請し導入が決まったのです。」

土屋教授「導入するのであれば、更にいろいろ十分な検討をした上で導入するという判断をするべきだったのではないかなと思っています。」

ナレ「新しいやり方で調査された去年 1 月からは不正調査の影響を減らすために密に行われていた 3 倍補正の効果と合わせて平均賃金が大きく上昇していました。」

ナレ「小川淳也「結果として厚生労働省での研究会をすっ飛ばす形での結論に至っている。何らかの政治的な力学が働いたというふうに想像しています。」

ナレ「小川氏はその政治的力学の一つとして菅官房長官の怒りが合ったのではないかと指摘したのです。」

小川淳也「霞ヶ関の人事権を全権掌握した史上初の官房長官です、史上最大の権力者ですよ、戦後最大の。みんな付度しているんですよ、動やったら喜ばれるか、どうやったら喜んでもらえるか。」

ナレ「一方、菅氏は小川氏の指摘を否定。」

菅官房長官「感情的に激怒することはまずありえない、このことを申し上げたいと思います。」

ナレ「当時、厚労省から調査方法の見直しを検討する旨の報告を受けていたことは認めましたが、」
菅官房長官「いずれにしろ私自身、統計に正直言ってそんなに關心を持っていませんでした。ですから専門家から対応し、ある意味では当然のことだろうと思っております。」

ナレ「去年1月の調査手法の変更でもう一つ変わったことがあります、日雇い同労者の扱いです。それまでは正社員やパート社員に加え一部の日雇い労働者も調査の対象に入っていました。しかし、去年1月からは調査対象から外されたのです。」

"小川淳也「日雇い労働者を調査対象から外したことは相当これは2018年の賃金を高く上振れさせていると思いますが、根本大臣、その事実をまず認めてください。」

ナレ「野党は比較的賃金が安い日雇労働者を外したことで平均賃金の数値が上振れしたのでは、と追及します。」

"ナレ「実は3年前、調査手法の変更を検討した統計委員会の議事録には、」
統計委員会出席者「賃金の水準に最大限ですけれども0.3%の影響がある可能性があります。黙って頬かむりして先へ進むというのはやはり難しいのではないか。」

ナレ「統計が不正確になるのでは、と懸念の声が上がっていたのです。この指摘に厚労省の担当者は。」
厚労省担当者「賃金全体の平均に対してはどれくらいの影響があるのかを評価したいと考えています。」

ナレ「平均賃金の数値が上振れしたのか影響を評価する、と明言していたのです。」

"ナレ「しかし、今日、根本大臣は。」

根本大臣「賃金の伸びへの影響については試算をしております。」

小川淳也「定義変更に伴う影響をきちんと国民に知らしめるという前提のもとに承認しているんです、根本大臣もう一回答弁してください、やると。」

根本大臣「私も今、今はじめて聞きましたから、そこは事実関係をしっかりと確認させていただきたいと思いました。」

またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

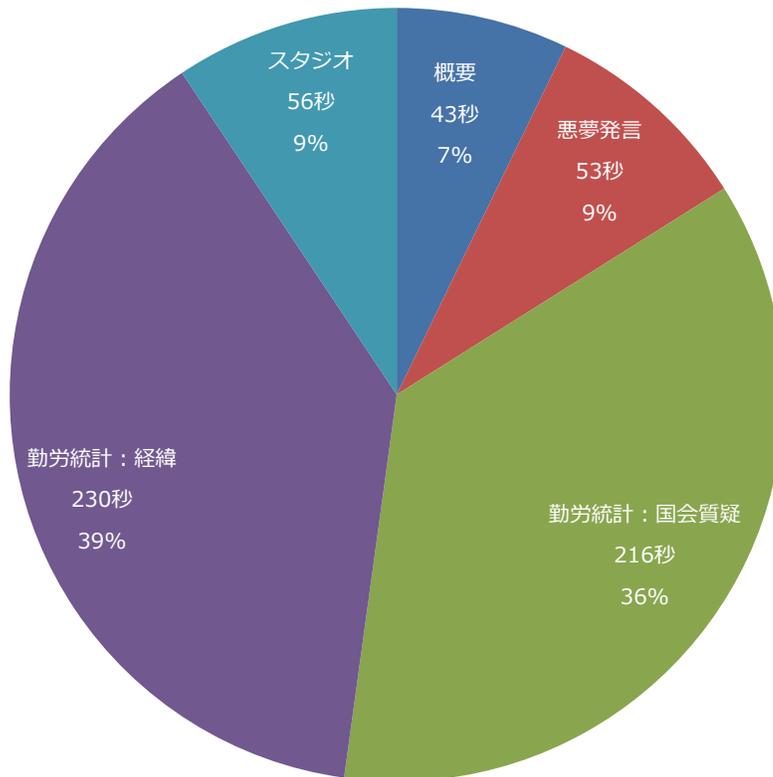
雨宮塔子「今日も解明されない点がいっぱいありましたが、この他にも厚労省の賃金構造基本統計を巡る問題について、指摘がありました。」

星浩「そうですね。」

駒田健吾「こちらの調査なんですけれども、もともとはですね、調査員が直接調べる事になっていたんですね、野党の指摘によりますと予算は1億5000万円、対象の事業所がおよそ8万、単純計算割りますと調査費は一事業所あたりおよそ2000円、問題なのは星さん、これ全部郵送で済まされていたということなんですね。」

星浩「そうですね、郵送だとまあ切手代が82円ですから2000円もかかるというのがおかしいんですね、更に驚いたのは今日指摘をされて厚労省はこの1億5000万というふうに使ったのかわからないと言うんですね、すぐ答えられない、自分の役所の予算をね、答えられないというのも驚きなんですね、まあ流用したのか、なにに使ったのかも早急に調べてですね、回答してもらいたいと思いますね。」

このトピックについて当てられた時間は598秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。



また、スタジオでの星キャスターの「更に驚いたのは今日指摘をされて厚労省はこの1億5000万どういふふうに使ったのかわからないと言うんですね、すぐ答えられない、自分の役所の予算をね、答えられないというのも驚きなんですよ、まあ流用したのか、なにに使ったのかも早急に調べてですね、回答してもらいたいですね。」という発言については、回答を求められている1億5000万円の使途について、どの程度のメッシュでの回答を求められていたのか、ということについては触れられていなかった。しかし、使途を答えるにあたってはどの程度のメッシュでの回答が求められていたのかという点こそ重要であり、即座に回答できるものなのか、すぐには答えられないものなのかはメッシュ次第である。回答を求められているメッシュに触れずに、単に答えられなかったのみコメントするのはいささかアンフェアであり、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らしても不十分であると言える。

・レオパレス 21 の施工不良問題：結論→特に問題なし

レオパレス 21 の施工不良問題について物件のオーナーらが今日、国に救済措置を求めましたこと、こうしたなかでレオパレス元社員の男性が取材に応じ施工現場の実情について語ったとのことが取り上げられた。

報道の中でレオパレス元社員は取材に対して「壁材が貼っていたものを現場に搬入して現場はそれを組み立てただけなのでなかの発泡ウレタンも見えませんが、やりようがないですね。会社が作っている部材なので、」と語っており、施行の現場では素材のチェックもできず違法性があることには全く気づかなかったとのことだっ

た。

またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「被害者の会ができるなど余波が広がっていますよね。」

星浩「そうですね、2つ問題があると思いますね、チェックを受けないままこういう建物ができていくということはどうすればいいのか、それから被害者対策ですね。これから引っ越しがあったりそれからオーナーの人お金どうするのか、まあ広いですからね被害がね、これから国交省がいろいろ対応していく必要が出ていくと思いますね。」

このトピックについて当てられた時間は 348 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・韓国の議長発言に政府が撤回要求：結論→特に問題なし

韓国ムン・ヒサン国会議長が「彼は戦争犯罪の首班の息子ではないのか、そのような人がおばあさんの手を取り本当に申し訳ないと一言言えば問題は解決する。」と発言したことについて、安倍総理は韓国側に強く講義し謝罪と撤回を求めたことを明らかにしましたとのことが報じられると共に、国会での安倍総理の「私は本当に、これは驚いたことでございます、強く抗議をすると共に謝罪と撤回を求めたところでございます。」という答弁が取り上げられていた。また、外務省は今日、駐日韓国大使館の次席公使を呼び改めて抗議をしたとのこと、韓国外務状の報道官はムン議長の発言について「慰安婦被害者の心の傷を癒やすためには日本側が心をこめた姿勢を示す必要があると巨鳥する趣旨だったと理解している」と説明し事実上議長を擁護した一方で「過去の問題はうまく解決し未来志向的な韓日関係の発展のため努力していく」、と述べたとのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 105 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ベトナム外相が平壤に到着：結論→特に問題なし

ベトナムのファム・ビン・ミン外相が北朝鮮の平壤に到着したこと、27日からベトナム・ハノイで開催される二回目の米朝首脳会談について事前調整を行う見通しであり、ベトナム側は金正恩党委員長を国賓待遇として受け入れることも検討していると言っているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 25 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

国会論戦：結論→印象操作の疑いあり

スタジオでは駒田キャスターの「こちらの調査なんですけれども、もともとはですね、調査員が直接調べる事になっていたんですね、野党の指摘によりますと予算は1億5000万円、対象の事業所がおよそ8万、単純計算割りますと調査費は一事業所あたりおよそ2000円、問題なのは星さん、これ全部郵送で済まされていたということなんです。」という発言に対して星キャスターが「そうですね、郵送だとまあ切手代が82円ですから2000円もかかるというのがおかしいんですね、更に驚いたのは今日指摘をされて厚労省はこの1億5000万どういうふうに使ったのかわからないと言うんですね、すぐ答えられない、自分の役所の予算をね、答えられないというのも驚きなんですよね、まあ流用したのか、なにに使ったのかも早急に調べてですね、回答してもらいたいと思いますね。」とコメントしていた。

まず、郵送で調査を行っていたとしても調査を実施するにあたり必要な作業は設問の作成や修正、調査対象の事業所の抽出、調査票の出力、調査票の郵送、返送されてきた調査票の整理集計、データベースへのインプットといった工程が考えられる。また、郵送するにしても調査票は 82 円切手だけで郵送できるような容量に収まっているのか、書留などは必要ないのか、返送の代金は事業所と政府どちらが負担するのかと言った点もある。こうした諸々の点を考慮すると、実際に一事業所あたりに 2000 円かかっていたのかという点には議論はあるだろうが、「切手代が 82 円だから 2000 円もかかるというのはおかしい」という星キャスターの発言は、必要な費用を過剰に安く印象づける恐れのあるものと言える。

また、VTR 中では調査方法変更の動機を「平均賃金の下げ幅の抑制」ということで報じていたが、サンプルをローテーションすることで、平均賃金の下げ幅が抑制されるという理屈が今ひとつよくわからなかった。サンプルを全数入れ替えて調査をするのであれば、各回の結果の差異が景気変動に由来しているのかサンプルの入れ替えに由来しているのか把握できないだろう。また、毎回のサンプル入れ替えを一定にすることで、各回の結果でのサンプル入れ替えによる差異の平準化やサンプル入れ替えによる数値の上振れや下振れといった影響も抑えることができると考えられる。サンプル入れ替えによって数値変動が抑制されるとしたらそれは上振れの場合でも下振れの場合でも言えることであり、サンプル入れ替えに下振れを抑えることができる、という報じ方は視聴者に誤った印象を与える恐れがあるだろう。

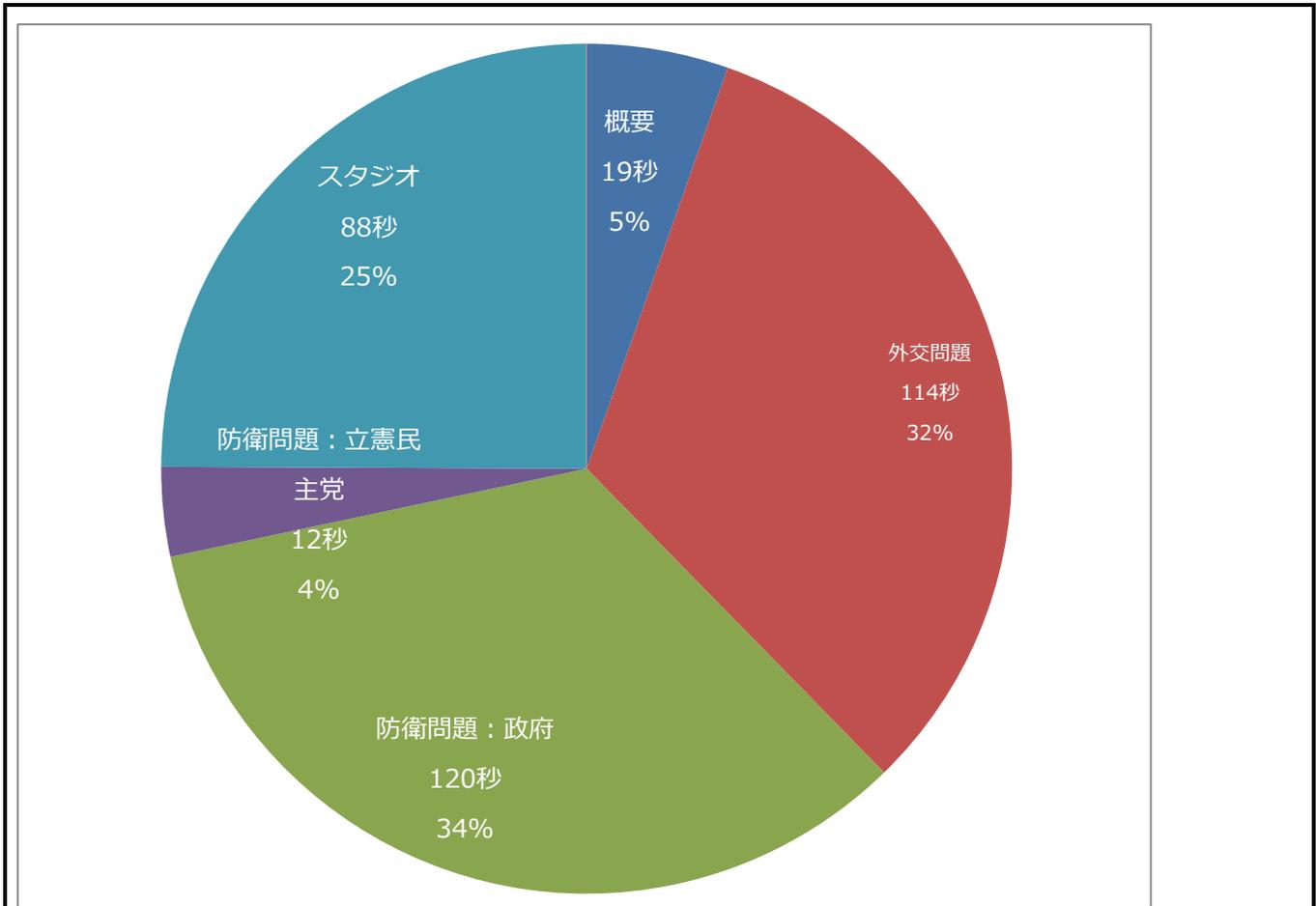
検証者所感

- ・ 韓国の議長発言に政府が撤回要求

日韓の問題解決のための天皇による謝罪ということであれば、これは憲法上、内閣の助言と承認のもとに天皇に認められている国事行為を超える行為に該当するという可能性があるのではないだろうか。気になる点である。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月13日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：国会論戦、東京五輪消えた金の行方は・・・、桜田大臣が池江選手への発言謝罪撤回、 日本でルノー日産三菱自動車の三社トップ会談へ、トランプ大統領が中国との関税期限延長も 沖縄新基地県民投票 24 日に</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会論戦 ・東京五輪消えた金の行方は・・・ ・白血病公表の池江選手にエール続々 ・とどかない SOS④加害経験者が語る虐待の内面 ・桜田大臣が池江選手への発言謝罪撤回 ・歌手兼神主の男ら逮捕 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 韓国議長天皇陛下を巡る発言に撤回の意思なし 東京五輪消えた金の行方は・・・ 日本でルノー日産三菱自動車の三社トップ会談へ トランプ大統領が中国との関税期限延長も 沖縄新基地県民投票 24 日に ・天気予報 ・沖縄新基地県民投票 24 日に 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会論戦：結論→問題あり <p>国会論戦について取り上げられていた。このトピックについて当てられた時間は秒で時間配分は以下の通りであった。</p>		



外交問題については以下に朱記したように取り上げられていた。

ムン・ヒサン（韓国国会議長）「安倍首相までが出てきて抗議しているのが理解できない。明らかなのは謝罪する事案ではないことだ。」

ナレ「アメリカワシントンを訪問中の韓国のムンヒサン国会議長。元慰安婦に対する天皇陛下の謝罪が望ましいとの自らの発言について謝罪しない考えを明らかにした。」

安倍首相「はなはだしく不適切であり同議長がその後も同趣旨の発言を繰り返している。極めて遺憾である。」

ナレ「一方、安倍総理は昨日に引き続き今日の予算委員会でもムン議長の発言を厳しく批判。謝罪と撤回を求めていくと強調した。平行線をたどる双方の主張。こうした中、日韓議員連盟の会長を務める額賀元財務大臣はソウルで知日派として知られるイナギョン首相らと会談しムン議長の発言に抗議した。」

額賀福志郎（元財務相）日本の国民も啞然としているししっかりと反省をして日韓関係についてよく働いてもらうようにしてほしいという話をした。」

ナレ「同席していた韓日議員連盟のカンチャンイル会長は議長に伝えると応じたということです。また、今日の国会では自衛隊を巡る総理の発言について…」

防衛問題について政府見解として首相と防衛大臣のやり取りが以下に朱記したように取り上げられていた。

安倍「残念ながら新規隊員募集に対して都道府県の6割以上が協力を拒否しているという悲しい実態があります。」

ナレ「10日の自民党大会で自衛官の募集に対し、都道府県の6割以上が募集対象者の情報提供の協力を拒否しているとした安倍総理。この発言に関連し、市町村の6割ほどと修正した岩屋防衛大臣は…」

岩屋「6割ほどが協力を頂けていないというのは事実です。」

ナレ「その上で…」

岩屋「3割は該当情報をピックアップしていただいて閲覧をさせてもらっているわけですが後の2割は防衛相の職員が全部閲覧をして自らピックアップしなければいけない。」

ナレ「つまり、協力を拒否したとされる6割の自治体のうち、5割については防衛省の職員が出向いて募集対象者の情報を得ていることを明らかにした。この5割を協力と見るのか、安倍総理の言うように拒否と見るのか、今日の国会は紛糾。」

安倍「資料提出を受けられない自治体に対してはやむを得ず住民基本台帳に基づいて閲覧の請求を行っているものと承知している。膨大な情報を自衛隊員が手書きで書き写しているということ。6割以上の自治体において協力を得られていないというのが真実、ファクトであります。」

立憲民主党の主張として以下に本多平直衆院議員の「ファクトじゃ全くないんですよ。手間がかかるというだけなんですよ。住民基本台帳見せてるのも協力ですよ。それを協力していないの6割に入れるのはおかしいじゃないですか。」という議場での発言が取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられていた。

雨宮「韓国のムン議長の発言なんですが韓国側は日本との早期の関係改善を願う思いから出た発言という釈明をしていますよね。この釈明もかえって火に油を注ぐといえますか関係を悪化させるものとは思わないのでしょうか？」

星「最近ですと慰安婦問題の合意を韓国側が一方的に批判をしたり、これまで清算している、解決済みだと言っていた徴用工問題については裁判所がそれを蒸し返したり、今回の議長発言もあるんですが、いずれも韓国の国内事情が絡んでるわけですね。国内事情からこういう発言になっていまして、そういうことが続くと、日本としてもなかなかつき合いきれないということになりますので韓国の方もちょっと頭を冷やして、国内でもう一回議論をやり直してもらいたいというのが1つありますね。」

駒田「そして日本はこのような状況でどういうふうに韓国に対応していけばいいんでしょうか？」

星「北朝鮮問題がありますから、これは韓国、非常に外交で重要な国ですよ。それから、市民同士の交流は比較的順調にいつているわけですよ。今回のような発言に対して、もちろん批判をするのは当然なんですけど、日本が批判して、韓国がそれにまた反論してと、悪くするためではないということをよく考えてもらいたいと思いますね。」

立憲民主党の本多平直議員は住民基本台帳を見せることも協力だと主張していたが、そもそも自治体は住民基本台帳の閲覧について、「国又は地方公共団体の機関による請求」は閲覧できる場合であると定めていることから、自衛隊による住民基本台帳が認められているからと言って、これを「協力」と表現できるかは議論の余地がある。むしろ、自衛隊に限っては国または地方公共団体の基幹であるが住民基本台帳の閲覧を認めないということがあれば、そのほうが問題ではないだろうか。

加えて、こうした立憲民主党の議員による指摘に対して、政府も反論をするのだろうが、そうした政府側の議場での反論については取り上げられておらず、本多議員による言い放しという構図での取り上げ方となってい

た。こうした取り上げ方は放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に照らしても問題であると言えるだろう。

・東京五輪消えた金の行方は・・・：結論→特に問題なし

東京オリンピックパラリンピックの招致を巡り、招致委員会からコンサルタント会社に支払われたおよそ 2 億 3000 万円について、JNN は、疑惑の中心人物とされるセネガル人の親子を直撃し、その取材の様子が VTR で取り上げられていた。

竹田恒和 (JOC 会長)「私がブラックタイティングス社と国際陸上競技連盟会長およびその息子がいかなるかんけいがあったことも知らなかったことを確認しました。」

竹田「私がブラックタイティングス社と国際陸上競技連盟会長およびその息子がいかなるかんけいがあったことも知らなかったことを確認しました。」

ナレ「去年 12 月、フランスの裁判所から事情聴取された JOC の竹田会長。2013 年、竹田会長が理事長を務めていた東京オリンピックの招致委員会はシンガポールのコンサルタント会社におよそ 2 億 3000 万円を支払いました。この会社の代表の友人は、国際陸連前会長で

IOC の元委員、ラミンディアク氏の息子、パパマッサタ氏。招致レースで父親のラミン氏は東京を支持した。このおよそ 2 億 3000 万円がディアク親子や IOC 関係者に対する賄賂だった疑いが持たれている。国際司法警察から収賄容疑などで指名手配されているパパマッサタ氏。日本のテレビのインタビューに初めて応じた。パパマッサタ氏は、招致委員会がコンサルタント会社へ送金したのとほぼ同じ時期にパリで高級時計などを購入。そのとき 8 万 5000 ドル分をコンサルタント会社が負担していたことがわかっているが…」

パパマッサタ・ディアク (IOC 元委員の息子)「東京五輪とは関係がない話だ。承知の成功が 3 つや 4 つの時計のおかげというのは言いがかりだ。」

ナレ「ディアク親子を巡っては東京の招致が決まった 2013 年 9 月 7 日、フランスの新聞『ルモンド』が不審なメールのやりとりがあったと報じている。」

パパマッサタ「マドリードに投票するようアフリカ諸国への働きかけが全力で行われている。休憩時間に何とかしないと。」

ラミン「この会議の後に話をしよう。」

ナレ「息子とともに収賄の疑いを持たれている父親のラミン氏。」

ラミン・ディアク氏 (IOC 元委員)「私がお金を受け取っていたなんて馬鹿げた話だ。東京だったらどんな街でも勝てる。私が票を入れなくてもね。なぜなら日本は陸上を支えてきたからね。私がお金を出したから投票したのではない。」

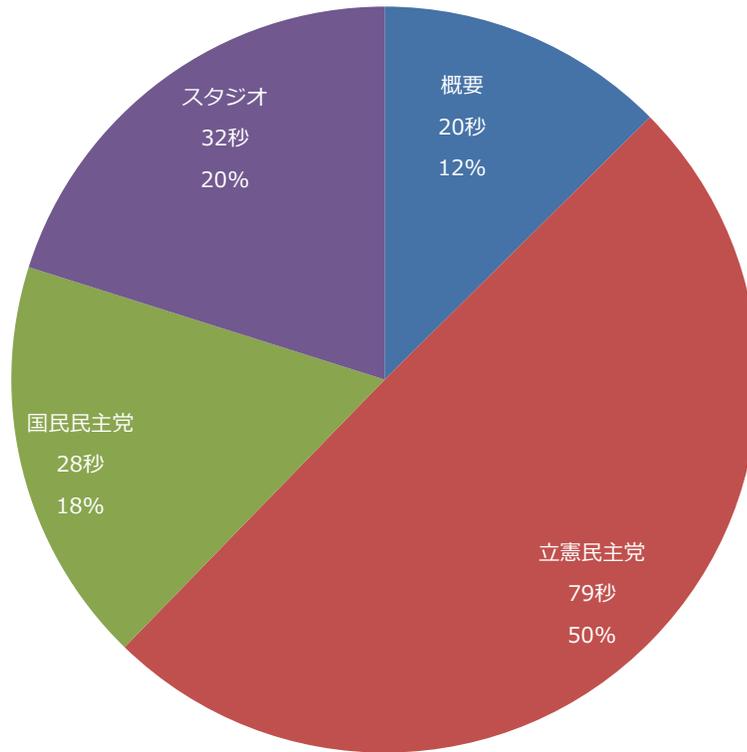
ナレ「竹田会長はコンサルタント会社との契約は適正だったとしている。しかし、コンサルタント料が何に使われたかは明らかになっておらず、捜査の行方が注目される。」

このトピックについて当てられた時間は 199 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜田大臣が池江選手への発言謝罪撤回：結論→特に問題なし

桜田大臣の発言が国会で取り上げられたことについて報じられた。

このトピックについて当てられた時間は 159 秒で時間配分は以下の通りであった。



立憲民主党の質疑では以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

寺田学(立憲民主党衆院議員)「大臣にとって選手というのはメダルを取るためのコマなんですか。大臣の発言を聞いて震えましたよ。」

ナレ「問題となっているのは池江選手が白血病の診断を受けたと公表した直後の発言です。早く治療に専念していただいて一日も早く元気な姿に戻ってほしい。と述べたうえで」

桜田「金メダル候補ですからね、日本が本当に期待している選手ですからね本当にかっかりしています。一人リードする人、選手がいるとみんなその人につられて全体が盛り上がりますからね。盛り上がり若干下火にならなかなど。心配していますよね。」

ナレ「心無い発言だなどと批判があがり今日、桜田大臣は発言を撤回、謝罪しました。」

桜田「昨日の私の発言の中でがっかりしている、盛り上がり若干下火になるか心配だという部分については配慮を欠いたと思う。おわびをし撤回させていただきたい。」

国民民主党の質疑では以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

ナレ「野党側はオリンピックを担当する資格がないなどとして、辞任を迫りました。」

階猛(国民民主党衆院議員)「五輪憲章は当然読んで理解していると思いますがいかがでしょう。」

桜田「話には聞いておりますが自分では読んでおりません。」

階「辞任はしないんですか。それで大臣は続けられるんですか。」

桜田「職務を全うしたいと思っています。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮「発言を撤回、謝罪ということですが桜田大臣、自分の発言がいかに無神経でしかも、どういう影響を及ぼすかわかっての謝罪なんでしょうか？」

星「政治家にとって言葉というのは命ですからねこういうふうには発言すれば、どういうふうには受け取られるかを考え抜くのが政治家の仕事なんですよ。これまでの失言に比べて今回は私、悪質だと思いますよね。だから、言葉の重みというのが理解できないなら、私は大臣の任にふさわしくないと考えますね。」

放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・日本でルノー日産三菱自動車の三社トップ会談へ：結論→特に問題なし

明日来日を予定しているフランスの自動車大手、ルノーのスナール新会長と日産の西川社長、三菱自動車の益子会長 CEO がトップ会談を予定していることがわかったとのこと、日本での3社トップの会合はルノーが新体制になって初めてのことで3社連合の関係強化を確認する方針であるとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は25秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・トランプ大統領が中国との関税期限延長も：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領は12日に中国との貿易交渉を巡り追加関税が発動する期限を来月1日から若干延ばす可能性に言及したこと、ただ中国との貿易交渉で合意が近いと判断できた場合だと留保をつけ、明日から閣僚級会談が行われるのを前に改めて中国側を牽制した形となったとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は24秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・沖縄新基地県民投票24日に：結論→特に問題なし

沖縄県名護市辺野古の埋め立てを問う県民投票が明日告示されること、県民投票を巡っては一時は宜野湾市などが不参加を表明していたが選択肢を3つにすることで最終的に全県での実施が決まっています。投票は24日であるとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は29秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・国会論戦

スタジオで星キャスターが「北朝鮮問題がありますから、これは韓国、非常に外交で重要な国ですよ。それから、市民同士の交流は比較的順調にしているわけですよ。今回のような発言に対して、もちろん批判をするのは当然なんですけど、日本が批判して、韓国がそれにまた反論してと、悪くするためではないということ

よく考えてもらいたいと思いますね。」とコメントしていたが、政治的な関係と経済的な関係であったり市民同士の交流という非政治的な関係というのは切り分けて考えればよいのではないだろうか。市民的な交流が順調だからといって経済的や政治的な関係も良好でなければならないという理由はどこにもないだろう。

また、批判をするのは当然、と言いながらも「日本が批判して、韓国がそれにまた反論してと、悪くするためではないということをよく考えてもらいたいと思います」と日本の自省自重を求める発言には違和感を覚えた。

こうした問題が起きたときに国民不在のママ有耶無耶のうちに中途半端な落とし所を探るよりは、むしろ徹底的な議論や論争を通じて、こうした国と政治的にお付き合いをする面倒さというのを両国の国民の前に晒し、そのうえでどういった関係を望むのかを国民に問うべきではなかろうか。

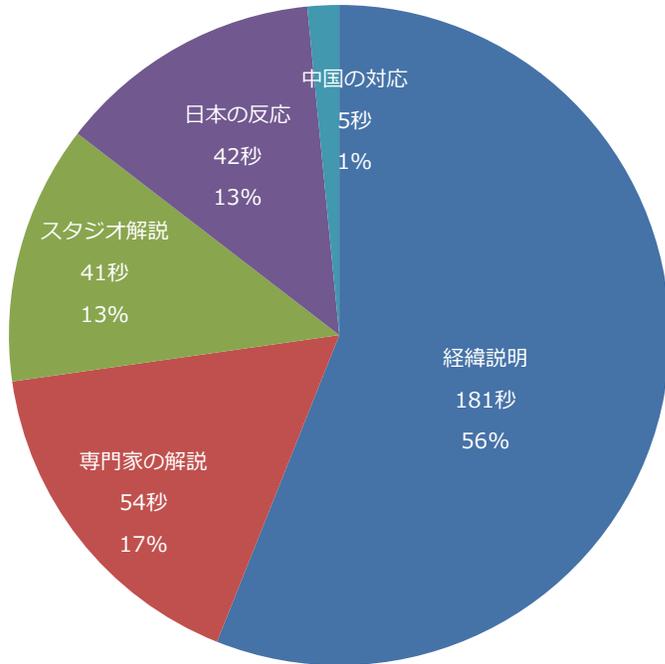
・ 桜田大臣が池江選手への発言謝罪撤回

スタジオで星キャスターが「政治家にとって言葉というのは命ですからねこういうふうには発言すれば、どういふふうには受け取られるかを考え抜くのが政治家の仕事なんですよね。これまでの失言に比べて今回は私、悪質だと思いますよね。だから、言葉の重みというのが理解できないなら、私は大臣の任にふさわしくないと思いますね。」と述べていたが、他方で組閣や内閣改造の時期が近づくとメディアは当選回数を基準に誰それは入閣適齢期だとか誰それは待望組だ、このあたりから起用されるのでは、などと政治家の期待を煽るような発言が目立ってくる。

そして、いざ入閣した際に問題発言や資質を問われるのは決まって入閣適齢期だとか待望組と呼ばれた人たちである。こうした経緯、結果として大臣の人にふさわしくないような人物を大臣の座に押し上げるような風土を醸成する発言を繰り返す星キャスターをはじめとするメディアは自身の責任や落ち度についてどのように考えているのだろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年2月14日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：中国・伊藤忠社員を拘束、同性婚求めて一斉提訴、辺野古基地移設県民投票が告示		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後樂園駅近くで切りつけ ・中国・伊藤忠社員を拘束 ・同性婚求めて一斉提訴 ・骨髄バンクに注目 ・出資詐欺で460億円の被害の可能性 ・愛媛県庁に1億円が届く ・辺野古基地移設県民投票が告示 ・生後2ヶ月長女暴行死事件 ・スポーツ報道 ・23Today 伊藤忠社員が拘束 同性婚求めて一斉提訴 小4女兒死亡事件 ルノー・日産・三菱が新体制後初のトップ会談 埼玉で火災 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国・伊藤忠社員を拘束→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 <p>今回は中国が伊藤忠商事の40代男性社員を一年間にわたり拘束していることが伝えられた。また、この拘束で中国に日本企業が進出することに二の足を踏む流れが生まれるのではないかという予想も伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は323秒で、経緯説明・専門家の解説・スタジオ解説・日本の反応・中国の対応に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

雨宮「拘束されたのは数ある日本企業の中でも、より中国と関係が深いと見られていた会社の社員でした。」

駒田「大手商社伊藤忠商事の社員が中国で一年近くの間身柄を拘束されていることが判りました。拘束したのはスパイ行為を取り締まる中国の情報機関です。」

ナレーター「中国南部の広東省広州市。北京・上海に並ぶ大都市で、多くの日本企業が進出しています。関係者によりますと、去年2月下旬、広州市の国家安全局が大手商社伊藤忠商事の40代男性社員を拘束しました。国家安全局はスパイ行為を取り締まる機関で、男性には国家の安全を害した疑いがかけられているということです。菅官房長官は男性の拘束と基礎を認めた上で、次のように述べました。」

"記者「スパイ容疑という話も出ていますが。」

菅官房長官「言葉の性質上、お答えを差し控えたいと思います。いずれにしろ、法人保護の観点からできる限りの支援をしてきております。」"

ナレーター「一方、中国側は。」

中国人報道官「その事案については把握していない。担当部門に聞いてください。」

ナレーター「男性は海外から中国大陸に入った途端に拘束されたと見られています。伊藤忠広報部は拘束を認めた上で、現在状況を確認していますとコメントしています。伊藤忠の社員は。」

社員「噂も全然ないので、今日まで全く知らない。僕も中国に駐在していたけれど、治安の悪さとかそういったのは感じたことない。スパイ行為とか何とか言っているが、そんなことするかなって感じ。」

ナレーター「1972年の日中国交正常化。その半年前に日本企業の先陣を切る形で中国との貿易を開始した伊藤忠商事。2010年には元会長の丹羽宇一郎氏が民間出身で初の中国大使に就任するなど数ある日本企業の中でも伊藤忠は最も中国と距離が近い会社と見られていました。」

丹羽宇一郎中国大使(当時)「経済的にもやはり中国との関係を強化していかないとどんどん遅れをとっていくことになると思います。」

ナレーター「男性が拘束されていると見られる広州市では伊藤忠が中国企業と合同で大量受注したリニア地下鉄が走っています。」

富坂總氏(拓殖大学海外事情研究所)「一言で言えば驚き。伊藤忠は商社の中でも突出して早くから中国ビジネスに力を入れてきたイメージ。中国から見れば、非常に友好的で積極的な企業に見える。」

ナレーター「2012年に習近平指導部の発足以降、中国政府は反スパイ法などを制定。機密情報の漏洩に危機感を強めてきました。中国では少なくとも8人の日本人がスパイ容疑で拘束。そのうち4人が実刑判決を言い渡されています。ただ、大手商社の社員が長期間にわたって拘束されるのは異例なことです。」

富坂「(中国に進出している企業に与える影響は?)警戒心は強くなると思う。ちゃんとした手順を踏んでやるというのが前提の企業だと思いますので、そういう社員が何らかのところに引っかかってしまったというのは自分達も、と考えてもおかしくないと思う。心理的な影響はかなりあるんじゃないか。」

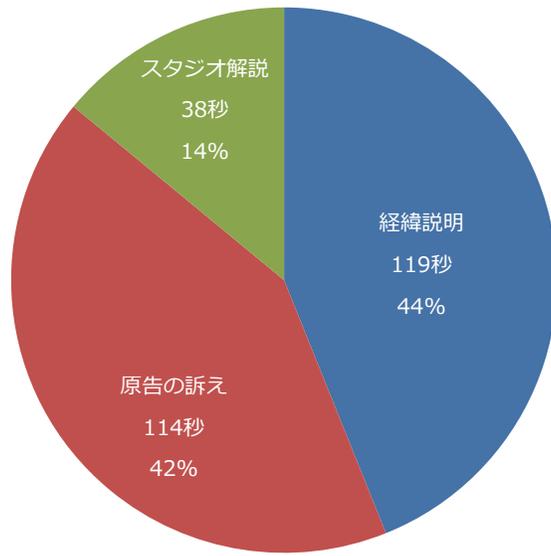
雨宮「今までも中国で日本人が拘束されたことありましたが、伊藤忠のように中国と友好的な関係のある社員でもこういうことになってしまうんですね。」

星「そうですね。最近中国経済が減速していますので、大手商社の中でもちょっと消極的になっているところが出てきているんですけども、それでも伊藤忠は中国重点で頑張ってきています。そういうことで皆ビックリしています。ただ、1年間も公表なしに拘束が続いていたということですよ。これは人権上大きな問題です。こういうことが続くとやはり中国には二の足を踏むというところが出てきて、日中関係全体に影響が出てくる可能性があります。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・同性婚求めて一斉提訴→結論：放送法第四条第一項三号「報道は事実を曲げないですること」に違反

今回は同性婚を認可して欲しいと13組26人が国を相手に裁判を起こしたことが伝えられた。報道では原告のうち一組に焦点を当て、その胸中に迫る内容であった。今トピックに当てられた報道時間は271秒で、経緯説明・原告の訴え・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

雨宮「今日はバレンタインデーですが、この日に合わせてカップルたちが一斉にある訴えを起こしました。」

駒田「彼ら、そして彼女らが求めていること。それは結婚を認めてほしいということです。」

ナレーター「今日、一斉に訴えを起こしたのは全国 13 組、26 人の男女。いずれも同性のカップルです。同性の間での結婚を認めてほしいと国を相手取り裁判に踏み切りました。」

原告「今日が日本の歴史の中で同性婚が認められる、そこに向かっていくスタートの一步になれば良いと思っています。」

ナレーター「埼玉県川越市に住む相場さんと古積さん。提訴した同性カップルのうちの 1 組です。」

相場さん「最初は全く結婚を意識することはなかったが、関係もちゃんとしていきたいねということで、両親の顔合わせをしたり、最終的には結婚式をしたりというふうに徐々に気持ちが変わってきたという感じ。」

ナレーター「二人の両親はともに結婚を認めてくれました。相場さんの勤務先も古積さんをパートナーとして認め、結婚祝い金を支給しました。そして先月、二人は婚姻届を提出。しかし返ってきたのは不受理証明書でした。民法などで結婚は男女を前提としているので、同性婚は認めていないのです。」

相場さん「もし私が死んでしまったときには相続ができない。健康であるうちはまだいいかもしれないが、何かあったときにどうなるんだろうという不安は常にある。」

古積さん「異性の方が婚姻しているのと同じような状態にはいられない。平等のまだ下にいる状態だっていうところを何とか変えたい。これから性的指向とか性自認に気付いてくる若い世代の人たちも、同性婚の制度があるかないかで生きづらさが変わってくると思う。」

ナレーター「一部には条例などで同性カップルを夫婦に相当する関係と認める自治体もあります。しかし、あくまで条例に過ぎないため、税金の配偶者控除や財産の相続権など結婚した夫婦なら受けられる恩恵がほとんど受けられません。」

相場さん「国を提訴するとなると私達も非常に怖い。過激なイメージもありますし、バッシングとか嫌がらせとか恐怖もあるが、なにかが変わるのを待っていたらいつまでたっても変わらないと思ったので、同性婚というのでも越えなければいけないハードルのなのかなと思います。」

ナレーター「同性婚が認められていないことについて、訴えを起こしたカップルたちは、憲法で保障された婚姻の自由や法の下での平等が侵されていると主張しています。」

相場さん「全国にいるセクシュアル・マイノリティの人たちのためにも我々は闘っている。特別な権利が欲しいわけではなく、平等なスタートラインに立ちただけです。公平な判断のもと必ず勝訴を勝ち取って国には同性婚を認めてもらいたい。」

雨宮「同性婚が最初に認められたのは19年前で、オランダだということなんですが、その後もドイツやフランスなど欧米各国に広まっていますね。」

星「そうですね。アメリカでは前のオバマ大統領が容認して、連邦裁判所も合憲と認めることから事実上解禁ということになっているわけです。この問題相当長く議論が続くと思います。しかし、世界の潮流とか多様性を認めようという風潮を見ますと、時間はかかってもおそらく認めていく流れになると思います。裁判所もそういう民意の流れを受け止めてもらいたいと思います。」

時間配分は比較的公平なものと言える。しかし、スタジオ解説の星キャスターの発言「裁判所もそういう民意の流れを受け止めてもらいたいと思います。」には問題がある。裁判所は司法の名の通り法を司る機関である。法律を基軸として事案についてその適応を判断するのが裁判所の役割である。その裁判所に対して民意を汲むことを求める発言は視聴者に民意の流れがあれば裁判の結果も左右されるという誤解を与え、これは明らかに事実ではない。これは印象操作という観点から非常に問題がある発言と言える。

今回は放送法第四条第一項三号「報道は事実を曲げないですること」に違反している。

- ・辺野古基地移設県民投票が告示→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は沖縄県名護市辺野古の埋め立てに関する県民投票の告示が行われたことが伝えられた。今トピックに当てられた報道時間は93秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

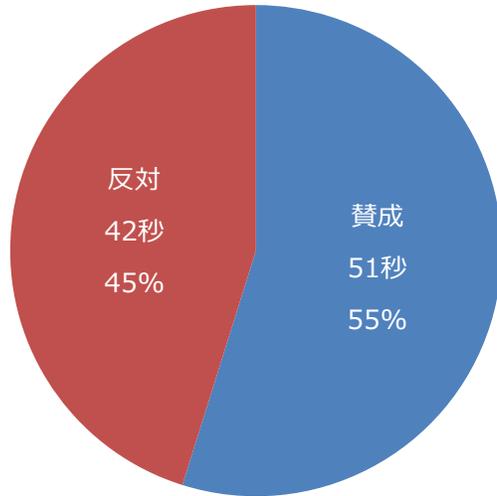
最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年2月15日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：勤労統計問題、カンギョンファ外相と河野太郎外相が会談</p> <p>メキシコ国境の壁建設を巡りトランプ大統領が国家非常事態を宣言か</p> <p>平成選定の舞台裏、米朝が終戦について協議</p> <p>中国外務省が伊藤忠社員男性の拘束を認める、金正恩氏の側近がベトナム入り</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労統計問題 ・ カンギョンファ外相と河野太郎外相が会談 ・ 松戸市の担任教師が児童に暴力促し殴らせる ・ メキシコ国境の壁建設を巡りトランプ大統領が国家非常事態を宣言か ・ 平成選定の舞台裏 ・ 新幹線券売機でトラブル ・ 米朝が終戦について協議 ・ 児童虐待防止でプロジェクトチーム発足 ・ スポーツ情報 ・ 23Today <p>勤労統計問題</p> <p>カンギョンファ外相と河野太郎外相が会談</p> <p>中国外務省が伊藤忠社員男性の拘束を認める</p> <p>浴槽に乳児放置で死亡</p> <p>金正恩氏の側近がベトナム入り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労統計問題→結論：放送法第四条の見地からは問題なし <p>4年前に従来の調査手法について厚生労働省に問題意識を伝えたという中江元哉前総理秘書官について中心に取り上げられた報道で、中江氏が官邸の意向を受けて一連の問題意識を伝えたのかが論点となっていた。この論点について中江氏に肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ以下のような比率及び時間となった。</p>		



否定的な意見としては立憲民主党の本田平直衆院議員からの「経理秘書官が厚生労働省の専門家に問題意識を伝える。まさにプレッシャーをかけていた。」「厚生労働省という役所は総理秘書官から問題意識を指摘されただけで実態を高く見せようとプレッシャーに感じるということは感じられなかったのか。」などの質問が取り上げられていた。

肯定的な意見としては中江氏本人から「タイムリーに表すために改善の可能性について考えるべきではないか。という問題意識を伝えた記憶がございます。私としては当然の反応をしたつもりでございます。」「過去にさかのぼって大幅に数値が変わるようでは経済の実態がタイムリーに表せられないのではないかと。政府の都合のいいデータが出るように統計手法上不適切な方法を取らせるそういった意図に基づくものではございません。」などの弁明が伝えられていた。

またその他の意見として厚労省の検討会メンバーだったエコノミストの永濱利廣氏は「これまで勤労統計は非常に注目度が低かったがアベノミクスで賃金が注目されるようになり急に新聞の1面を飾るような注目のされ方をして少し厚労相の方々が困惑しているような雰囲気はうかがえた。」とコメントしていた。

賛否の比率を見るとほぼ均衡であり統計上は放送法上問題はないと考えられる。しかし肯定的なコメントの大半は中江氏本人の弁明であり、より多角的な意見を取り上げられることが出来れば更なる改善がみられるのではないかと結論する。なおこの報道は秒報じられた。

・カンギョンファ外相と河野太郎外相が会談→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

ドイツを訪問している河野外務大臣が韓国のカンギョンファ外相と会談したことについての報道。河野外相は

「日韓関係、色々難しい状況ではありますが今日は率直に意見交換したい。」カンギョンファ外相は「重要な米朝首脳会談を前に韓日・韓米日間の連携が特に重要な時期です。」とそれぞれ述べていた。会談は日本時間の午後6時半頃からおよそ50分間行われ、外務省によると河野大臣は徴用工訴訟で請求権協定に基づく二国間協議に応じるよう改めて要請したと伝えられていた。また、河野大臣は韓国国会議長の慰安婦を巡る発言についても抗議したものの韓国側から特に反応はなかったことも報じられていた。一連の会談について星浩氏は「平行線が続いているんですけど、次々といろいろ問題が起きてくる中で、外務大臣同士のパイプが維持されていることが大事なことだと思いますね。2人とも英語が堪能なので、時には通訳を抜いて英語で話していることもあるらしいので、このパイプを詰まらせない努力が必要だと思いますね。」とコメントしていた。この報道は147秒で特に問題点は見られなかった。

・メキシコ国境の壁建設を巡りトランプ大統領が国家非常事態を宣言か→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

トランプ大統領が新たな予算案でメキシコ国境の壁建設に13億ドルあまりが充てられたもののトランプ氏が求めていた57億ドルの4分の1程度とかけ離れていたため、トランプ氏が予算案には署名する一方で議会の承認を得ずに壁の建設を進めるため国家非常事態を宣言する見込みであることが報道されていた。

このことについて岩田夏弥記者は現地から「トランプ大統領の最大の関心は来年の大統領選挙での再選で今回の決断も支持者の結束を固める上でプラスになると判断したと考えられます。アメリカでは去年11月の中間選挙で野党民主党が下院の多数派を奪って以来、議会のムードが一変しました。これまでやりたい放題とも言えたトランプ氏でしたが、与野党の対立で予算の成立が遅れ、今後はロシア疑惑の追及も本格化してきます。そうした中での非常事態宣言の発動ですが、実はその効果やタイミングについてはトランプ氏も慎重に検討したようです。こちらご覧いただきたいんですが、こちらはトランプ陣営が主に支持者宛てに送っている一斉メールなのですが、先週8日のメールでは大統領が壁の建設のために非常事態を宣言すべきかどうかというアンケートをとっていました。こうしたデータも参考にしながら来年の大統領選挙への支持固めにプラスになると判断し、勝負に出たものと見られます。トランプ氏、この後日本時間午前0時からの記者会見で非常事態を宣言する見通しです。」と伝えていた。同報道は217秒報じられ特に問題点は見当たらなかった。

・平成選定の舞台裏→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

4月1日に発表される新元号で政府は選定の手続きは平成を踏襲すると述べたことに関連し、実際に平成はどのような過程を経てきた報道されていた。この報道では元内閣内政審議室長の的場順三氏の話を中心にすすめられていた。的場氏は当時を「象徴としての天皇陛下もそうですけど陛下の尊厳の問題にかかわる話でしたから。しかもあらかじめそんなことを準備しているということが漏れたらえらいことになります。ただ片方国家の危機管理というものがありますから。秘かに備えておくということが大事。」と振り返っていた。なおこのトピックスは265秒報じられ特に問題点や賛否が分かれる点は見られなかった。

・米朝が終戦について協議→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

今月末の米朝首脳会談に向けてアメリカのポンペオ国務長官は朝鮮戦争の公式な終戦は北朝鮮側と協議を重ねて

NEWS23 週刊報告 詳細版

いる案件だと明らかにしたことが伝えられた。休戦状態にある朝鮮戦争を公式に終わらせる終戦宣言には現在の休戦協定を結んだアメリカ主体の国連軍と北朝鮮、中国の3者の合意のほか、アメリカ議会の承認が必要で、ハードルが高いとされており、アメリカの当局者は2カ国間で法的拘束力のない宣言であれば可能だとの認識を示し、米朝2カ国による平和宣言などの採択について協議していることを示唆していた。同報道は52秒で特に問題点は見当たらなかった。

- ・ 中国外務省が伊藤忠社員男性の拘束を認める→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

中国外務省は、中国の法律に違反した疑いのある日本国民に対処したとして、大手商社、伊藤忠の男性社員を拘束していることを認めたことについての報道。ただ、どのような行為が罪に問われたかなどについて説明はされなかったことも併せて伝えられた。この報道は17秒伝えられ特に問題点はなかった。

- ・ 金正恩氏の側近がベトナム入り→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

2回目の米朝首脳会談を前にキムジョンウン党委員長の執事とも呼ばれる側近、キムチャンソン国務委員会部長らが中国北京に到着したことが伝えられた。16日にも会談開催地のベトナム・ハノイに入り会談の警備について打ち合わせが行われるとの見込み。なおこの報道は23秒で特に問題点は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし